

関関同立戦

3年生 大倉 久孝

2019年度の関関同立戦の様子について報告いたします。なお、HPやブログを読んでもご理解いただけるように、渋い大会となりました。

準備期間

今年は2回生から4回生まで一人ずつが出場することになりました。私と登島は経験済みの谷さんから、サークルが発生しやすい場所や競技中の注意点などを事前に確認しておきました。

私も登島も周回競技は初体験だったため、まずは慣れることが大事だと考えていました。

集合日

10月18日。関関同立が大野に集合しました。各係のオープンを終えてから、GPSの申請書を提出しました。その後、同志社の三人で明日の天気を見ましたが、雨です。もし晴れた場合のことも考えて、順番だけ決めて、この日は就寝しました。

1日目

予報通り雨でした。そのため、公民館で開会式を行いました。みんなが元気なうちに集合写真も撮っておきました。その後は各大学、自由行動でした。

2日目

一週間の天気を見ると、晴れるのは今日だけとなっています。各大学の選手たちはここで周回せずについて飛ぶかといった顔で空を見上げています。しかし、待っていたのはバッタフライトでした。私たちも粘りましたが、結局得点したのは立命館のみで、取得点数も5点でした。

3日目

この日も条件が出ず、終日クルーフライトとなりました。上回生が多いため、クルーは一日で7発も飛ばしてもらっていました。

4日目

この日も雨のため、ノーコンテストでした。気分転換に外に出ましたが、刺激不足でした。

5日目

一週間の中で一番いい天気だったと思います。明日も明後日も雨予報で、周回するなら今日です。しかし、選手は私一人だったため、発航キャンセルで様子を見ていました。滞空し始めた頃に発航を開始しました。サーマルはあるものの小さく、50度くらいのバンクで回って、やっと1m上がるかどうかでした。しかし、なんとか12分の飛行時間を獲得し、同志社は2点を獲得しました

6日目

早朝の雨で昼から発航開始でした。しかし、天気も悪くクルーフライトで終了しました。

7日目

最終日も雨のため、ノーコンテストです。

総括

優勝は立命館で12点、準優勝は同志社で2点でした。なんとも天候に恵まれない一週間でしたが、関関同立の仲は深まったと思います。今後も、関関同立の4校で、さらに上を目指したいと思います。応援いただいた卒業生の皆様、ありがとうございました。